楽学（がくがく）ニュース

第108号（発行　平成18年4月28日）

【編集・発行】
特定非営利活動法人
あだち学習支援ボランティア「楽学の会」
【事務所】市川茂敏方
〒123-0853 足立区本木1-10-11
ホームページ http://gakugakukai.ld.infoseek.co.jp/

「楽学の会」創立１０周年記念事業開催！！

「楽学の会」は、平成８年６月に綾瀬の足立区生涯学習振興公社を活動拠点とする「生涯学習ボランティアグループ　楽学の会」として発足し、平成１２年４月に(財)生涯学習振興公社の設立とともに現在の学びピアに移りました。平成１５年４月にはＮＰＯ法人に移行し、現在に至っています。したがって、この５月で早くも、創立１０周年を迎えることになり、来る５月３１日(水)に以下の要領で記念事業を行います。

第１部「あだち区民大学塾フォーラム」
- **時　間：午後１時～午後４時半**
- **会　場：足立区生涯学習センター・講堂**
- **プログラム：**

(1)特別講演会
- **①テーマ：好きなことでもっと人生を楽しく！元気に！**
  ～『こころ』を豊かにする出会いと仲間づくり～
- **②講　師：河合隼雄　文化庁長官・臨床心理学者**

(2)パネルディスカッション
- **①テーマ：区民の学びから拡がるまちづくり**
  ～『あだち区民大学塾』が支える学びとは～
- **②コーディネータ：雑誌「社会教育」編集長　近藤真司氏**
- **③パネリスト：桜美林大学教授　瀬沼克彰氏、文化ボランティアコーディネータ　大久保邦子氏**
  足立区教育委員会社会教育主事　森太一氏、ＮＰＯ法人「楽学の会」代表理事　市川茂敏

- **参加費：無料**
- **主　催：NPO法人「楽学の会」、足立教育委員会、（財）足立区生涯学習振興公社**

第２部「楽学の会 創立１０周年記念 祝賀会」
- **時　間：午後５時－午後６時半**
- **会　場：足立区生涯学習センター７階・さくら**　　**・会　費：会員　3、500円**

[本の紹介]　「心 の 扉 を 開 く」　河合　隼雄 著

著者略歴　１９２８年兵庫県生まれ。文化庁長官、臨床心理学者、京都大学名誉教授。
(株)岩波書店（電話案内：03-5210-4000）　2006年3月24日発行　定価：1,800円＋税

上記の「あだち区民大学塾フォーラム」特別講演会でご講演いただく、文化庁長官である河合先生の近著であり、特別講演会を一層楽しく有意義なものにするためにも、本書を読まれるよう推薦したい。

先ず本書「あとがき」の一部を紹介する。『本を読まない人が増えたと思う。それに大学生がほとんど本を読まない、と聞くと、本当に悲しくなる。（中略）私はできるだけ多くの人に本を読んでもらいたいと思っている。それも、知識のつまみ食いのようではなく、一冊の本を端から端まで読むと、単に何かを「知る」ということ以上の体験ができると思っている。一人の人に正面から接したような感じを受けるのだ。（中略）本書は「心の扉を開く」と題して自分の心の深層にだんだんと迫ってゆくのだが、そのときに読書を通じてそれを行う、という方法をとった。』と著している。全体はⅠ：私と“それ”、Ⅱ：心の深み、Ⅲ：内なる異性、Ⅳ：心－おのれを超えるもの、の４章で記されている。また著者が読んで欲しい本を各章に５冊挙げている。人間理解を深め、人生を豊かにする一冊！

本書から読書への意欲、面白さを思い起こされた。本の読み方も反省させられた。最近“つんどく”ばかりなので、読書に心がけたい。それが、「自らも学び、輝く」学習支援ボランティアの学習にも、つながるのではなかろうか。　　(市川　茂敏)

卓球から学ぶ「熟年人生の健康と生き方」～卓球を通じて得られる若さと楽しい仲間～

3月3日～３月２４日、研修室４に於いて、第１回：「まだ解明されない体の不思議」、第２回：「若い肉体と精神をいつまでも保つために」、第３回：「チャンピオンが伝授する卓球の極意」のテーマで講座が開催された。講師は元・全日本社会人チャンピオン中村提見氏で、鹿島コーディネーター以下９名がスタッフとして活動した。

応募者総数は３９名と当初の予想を上回り、３日間約３０人が熱心に受講された。男女比率では女性の構成比が高く６７％であった。受講者の講座の内容に対する主な意見では、

1)心技体の体験にもとづく理論を聞けてよかった。
2)楽しく聞けて、スポーツや栄養に対する考えが深まった。
3)卓球の基本中の基本。初心に戻り卓球を愉しみたい。
4)上達しない卓球､私自身又頑張ってみます等、

健康と卓球両方で、概ね講座企画の狙い通り好評であった。　　（田中国弘）

自主講座「こどもの安全」

初めて講座の企画を担当させていただきました。

何もかもが初めての中で、多くの方にご迷惑をお掛けしてしまいましたが、みなさんに支えていただき、講座を終了することが出来ました。反省点などは多々ありましたが、今度に繋げていけたらと思っております。

「こどもの安全」をテーマに、様々な角度から先生のお話を伺えたのは私自身ありがたく思いました。やはり､「こどもの安全」をひとごととして捉えるのではなく、自分のこととして身近に考え私たちが積極的に動いていかなければならないと思います。だからこそ、子どもを持つ、受講者にあまり足を運んで頂けなかった事が悔やまれます。時期や対象となる年齢層などにも問題があったかと思いますが、そういった点を考慮しながら社会の状況を見た講座を考えていけたらと思います。

（小林玲奈）

「新・話し方おもしろ講座」：追加講座

応募者が多かったため､３月２８日､４月４日、４月１１日に追加の講座を行いました。

受講者からは

・ 楽しく参加できました。聞くだけでなく、発言するというのがとても良かった。
・ 大変貴重な体験をさせて頂きました。

等の声が寄せられました。　　(小林徹)

運営ボランティア報告

▼ＮＨＫ連携講演会
「藤田嗣(つぐ)治(はる)の全貌を探る ―パリを魅了した異邦人―　」

私が藤田嗣治画伯を知ったのは今から30年以上前の学生時代で、京都で展覧会が開かれた時でした。夢二の日本画にも通じる感性があり､「変わった西洋画を描く人だな」と強く印象に残りました。

今回の３月１９日は日曜日のせいか、運営ボランティアが少ないとのことで、声が掛かり、喜んで参加しました。総勢５名で、講堂一杯の参加者の受付、誘導、接待、司会を無事に務めることができました。皆さん、有能ですね。

講師は多摩美術大学 中村隆夫教授でした｡とても話し好きの先生で､受付開始前にロビーに来て、色々な話をして下さいました。先生と話ができるのもボランティアの楽しみの１つですね。先生によると、藤田嗣治展が日本で開かれるのは随分久しぶりなんだそうです。戦争協力の責任をひとりで負い、日本画壇で冷遇された藤田は、失意のままパリで亡くなります。日本の『村社会』特有のことでしょうか。しかし、画はすばらしいと思います。展覧会は５月２１日まで、東京国立近代美術館で開催されていますので、行かれては如何でしょうか。

(喜多村政夫)

平成１８年度生涯学習ボランティア養成セミナー　開催予告

「楽学の会」はボランティア元年と呼ばれた神戸大震災の翌年に開催された生涯学習ボランティア養成セミナーの受講者により創設され、それ以降毎年開催されてきました。その受講者が楽学の会の主な構成メンバーになっています。セミナーで、最初の頃は、ボランティアは余った時間、能力、お金を提供するものと聞いていたのが、最近は専門性と責任感が強調されるようになりました。ボランティアとしての考え方を確認でき、「楽学の会」のメンバーの研修としても本養成セミナーは有効です。運営ボランティアとして参加いたしましょう。

<プログラム>　　（時間：毎週水曜　午後7時～9時、会場：生涯学習センター）

	テ　ー　マ	講　　師（敬称略）
第１回 6/14(水)	ボランティアについて考える －生涯学習とボランティア活動－	(財)日本生涯学習総合研究所理事 伊藤俊夫
第２回 6/21(水)	生涯学習とボランティア －ボランティア活動の意義と新潮流－	(社)日本青年奉仕協会理事 興梠　寛
第３回 6/28(水)	社会教育施設ボランティアの魅力とその可能性 －だからボランティアはオモシロイー	文化ボランティアコーディネーター 大久保邦子
第４回 7/ 5(水)	こんなこと実践しています！ －施設ボランティア活動事例－	鎌倉市生涯学習推進委員会 ＮＰＯ法人　「楽学の会」
第５回 7/12(水)	学習情報の提供と相談による学習支援 －「学習情報ボランティア」の可能性－	文教大学教授 平沢　茂
第６回 7/19(水)	学習ボランティアのすすめ －生涯学習ボランティア活動とまちづくりー	川村学園女子大学教授 齋藤哲瑯

（学習支援部）

★運営ボランティア募集★

申込み先：
岡田スミ子　TEL/FAX：３６０６-０５９４
石田佳久　　TEL/FAX：３６２０-１３４７
E-メール：adu41060@ams.odn.ne.jp
申込み締切り日：５月２５日（木）

★運営ボランティア事前打合せ★

日時：６月７日(水)　午後７時－９時
場所：生涯学習センター

３月度月例会報告

３月度の月例会は３月２７日（月）午後７時から江川さんの司会により開催された。

教育委員会学校地域連携課桜井係長より「今、学校支援ボランティアに期待するもの」と題しての講演が行われた。

学校支援ボランティア誕生の背景、意義、事例等について詳しく説明された。当区の教育改革について時系列的に、また今後の課題として学校応援団構想について説明があった。質疑応答では、小・中学校を取巻く環境の悪化、学力レベルの低下対策等活発な議論が展開された。

引き続き瀬田常務理事より５月３１日の１０周年記念事業について説明があり、全員の力を結集し成功するよう参加者全員が決意を新たにした。

最後に各部からの報告があり終了した。

(石渡建夫)

新入会員紹介　　☆ 小島さん ☆

入会の抱負

はじめまして、４月より入会させていただきました小島と申します。３月まで区内の地域学習センターの職員をしていまして「楽学の会」が企画する学習事業は、バラエティに富んでいて興味深く活動を拝見していました。今回、こちらから門戸をたたくような感じで市川代表理事達とお会いして、快く入会させていただきました。

若輩者の３０代（団塊ジュニアの世代）ですが、この年代にしかないパワーを発揮して地域の生涯学習の振興の一助になりたいと思っております。地域学習センター職員時代の経験を活かした事業が実現できたらとも考えております。どうぞよろしくお願いします。（＾＾）／（コジマ）

指定管理者制度学習会(第５回最終回）報告

２００５年８月から開始、本会を入れて定例会５回、臨時会１回、会員の声を聞くを１回と都合７回約８ケ月を要しました。その間本制度を取り巻く情勢も変わり新聞、テレビなどで取り上げられる機会が増えました。それだけ本制度への関心が深いもので、我々の学んだものの本質的な課題は変わっていないと思います。

１．日　時：４月５日(水)　午後４時－６時
２．場　所：学習センター研修室４
３．出席者：１７名
４．議題・内容；
①指定管理者制度への最終提言
（第1回～第4回の学習成果を踏まえて）
②文化ボランテイア全国フォーラム２００６
第４分科会報告

＜世話人からの最終提言＞

この制度の課題、問題点、また「楽学の会」が管理者に応募するとした場合の課題、参入の実現性、また応募・参入しない場合の課題などが、学習会から明らかになりました。したがってこれらを踏まえ、行政との緊密な連携、情報の収集を図りながら、今後は会としての方針を決めると共に会員の総意によって参入の是非を決めて欲しいこと。もう一つは変化の激しい時代の流れの中で、さまざまな提言、提案を発信していける私たちであることを期待します。

最後に、地域住民の潜在的な学習意欲を引き出せる学習施設であって欲しい等、区民が期待するこれからの学習施設とはどんな施設か、また区民の立場からはどんな管理者が望ましいか、ということについて意見交換し､学習会を終了しました。

終わりにあたって、学習会開催に際して会員各位の熱心な御協力と、関心に世話人一同心から感謝致します。

(田中国弘・安藤寿)

みんなの広場

楽学ニュース１０６号にて読み方の難しい地名を出しましたが、今回はその回答をします。

両方とも音(読み方)ありきで、その後で漢字が当てられたようなので大変だったと思います。

読み方を下記に記します。

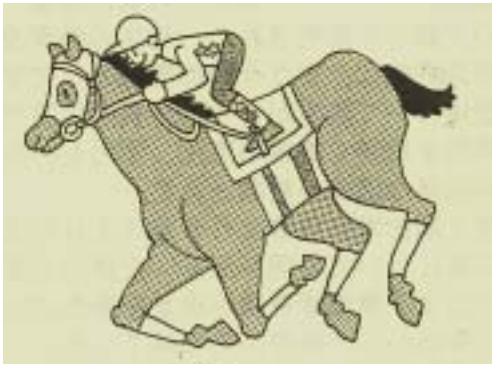
北海道

(１)あいかっぷ　(２)のとろ
(３)ぶいま　(４)あっちゃせ
(５)しうんこつ　(６)おこっぺ
(７)うぷん　(８)いっちゃんとう
(９)てしかが　(10)うらやこたん
(11)おといねっぷ　(12)おいかまないとう
(13)おんねとう　(14)おさっぺ
(15)おしゃまんべ　(16)さっくる
(17)くっちゃんちょう　(18)おこたん
(19)おさるし　(20)やませとまりまち
(21)やむわっかない　(22)のかなんちょう
(22)しらおい

沖縄

(１)よんじょうばる　(２)じっちゃく
(３)たまぐすく　(４)きゃん
(５)くにがみそん　(６)なきじんそん
(７)だくじゃく　(８)あがりやまもとまち
(９)あげだ　(10)きせんばる
(11)ふとりじゃばる　(12)みんな
(13)ぎなま　(14)いりおもて
(15)はいみなか　(16)こちんだ
(17)あらぐすく　(18)ぐしかみ
(19)あがりえ　(20)そなえ
(21)にかどり　(22)ざらんみ
(23)へんな

皆さんいくつ読めましたか。また、漢字を思い出せますか？



運営委員会だより

平成18年4月度の運営委員会は4月5日(水）に開催されました。議事録をもとに報告します。

１．あだち区民大学塾の件

①平成17年度第3ステージの第2回「新・話し方おもしろ講座」が申込者20名で開講した。

②平成18年度第1ステージ応募状況

「心をはぐくむ童話の魅力」43名

「歌は人生のパートナー」　54名

③平成18年度第２ステージの講座の会場は第５研修室の予定。

２．指定管理者制度学習会の件

第5回学習会は、本日、第1回から第4回までの学習成果を最終提言としてまとめた。

なお、今後の展開については6月1日からスタートする新体制の理事会で検討することになった。

３．創立10周年記念事業の件

本日、記念事業事務局会議を開催し、案内状、チラシの作成等について検討した。今後の予定は、

①4月12日に案内状、チラシを作成し、13～29日までの間に、来賓、招待者、正・賛助・後援会員にそれぞれ郵送する。

②第1部、第2部の実行委員会を開催し役割分担を検討する。

４．平成17年度通常総会の件

開催日時は5月12日(金)午後7時～第4研修室、司会、議長、議事録署名人、各議案説明者、監査報告者について協議を行なった。

５．平成17年度事業報告書・平成18年度事業計画(案)の件

事務局作成の事業報告書ならびに事業計画(案)について検討を行った。

６．各部・局等からの報告及び提案

○会報部　楽学ニュース108号及び10周年特集企画について報告があり、検討を行った。

○事務局　正会員の入・退会および賛助会員の退会について報告および顧問の肩書き一覧表の配布があった。

７．その他

日本余暇学会で“私の余暇実践”と題した論文を募集していることの紹介があった。

(瀬田佳男)

生涯学習センターからのお知らせ

異動並びに組織変更（敬称略）

足立区教育委員会

森太一 係長⇒教育政策課　教育政策担当係長

学校地域連携課　社会教育担当係長：本間真代

(財)足立区生涯学習振興公社

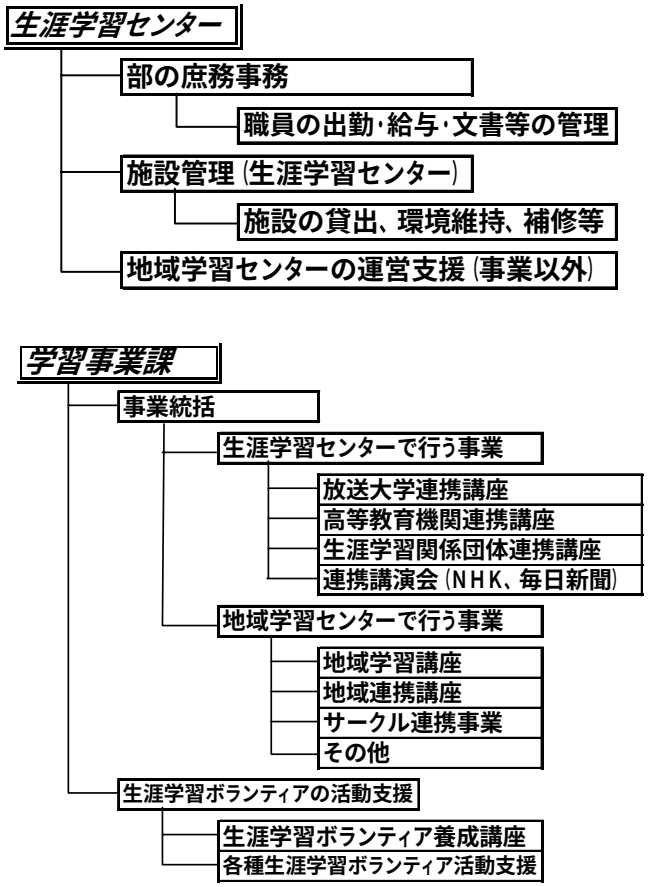
生涯学習部々長：藤田雅敏

学習事業課長：武田たかね

課長補佐：分野進一

担　　当：池田、国分、勝野

生涯学習センターと学習事業課の役割は下記組織図のようになりました。



通常総会開催通知

以下の要領で、平成１８年度通常総会を開催しますので、万障、お繰り合わせの上、ぜひとも出席くださるよう、案内いたします。

１．日　時：5月１２日(金)　午後７時から
２．場　所：生涯学習センター　研修室４
３．議　題：
①議長、議事録署名人の選出
②平成17年度事業報告・収支報告の件
③平成18年度事業計画・収支予算の件
④理事・監事選任の件
⑤その他

お願い：
止むを得ず欠席される方は、委任状を事務局長瀬田宛に提出下さい。

年会費納入のお願い

４月月例会で納入できなかった人は、平成１８年度会費を下記口座にお振込み願います。

正 会 員　　2,000円
賛助会員　　2,500円
振込み先　　**足立本木郵便局**
記　　号　１０１８０
口座番号　８２１６７５８１
名　　義　楽学の会　瀬田 佳男
(事務局)

会の昔の写真を貸していただけませんか？

楽学ニュースの次号１０９号は、１０周年記念号です。楽学の会の発足当時からの活動紹介にぜひとも写真を入れたいと会報部一同、考えていますが、昔の写真が見つかりません。

お手持ちの昔の写真がありましたら、お貸し頂きたいのです。

お貸し頂ける時は、会報部長　小林徹までご連絡下さい。しばらくお預りして、スキャナに取った後、ご返却いたします。また、写真の裏にいつ、どこで、何をしている時に撮ったのか、その時のエピソードなどを記して頂けるとありがたいです。

連絡先：小林徹
TEL/FAX：**03-5242-2638**
E-Mail：**kobatets@yd6.so-net.ne.jp**

楽学インフォメーション

★会合のお知らせ★

○通常総会
5月12日(金)　午後7時－9時　研修室４

○創立１０周年記念事業（別掲載参照）
5月31日(水)　生涯学習センター

○運営委員会
5月1日(月)　午後7時－9時　ワークルーム

○学習支援部
5月9日(火)　午後7時－9時　ワークルーム

○ボランティア活動推進部
休み

○会報部
5月10日(水)　午後3時－5時　ワークルーム
5月23日(火)　午後3時－5時　ワークルーム
5月27日(土)　午後3時－5時　ワークルーム

○事務局
5月17日(水)　午後2時－4時　ワークルーム

★お問い合わせ＆ご意見等

○「楽学の会」の運営に関するお問合せ
事務局　瀬田佳男　電話：03-3896-2462
E-Mail：ys-0618@taupe.plala.or.jp

○ホームページに関するご意見・ご提案
ホームページグループ　原田進
電話：03-3913-6050
E-Mail：BRB03616@nifty.ne.jp

【編集後記】

皆さんが本号を受取られるころはゴールデンウィークの真っ最中でしょうか？景気も少し明るさが見えてきたので、海外旅行者が大幅に増えているとか。

楽学の会は、５月は、総会、１０周年記念事業と忙しい時期。また、６月１４日からは、ボランティア養成セミナーも始まります。今年度も会員数の大幅アップを図り、楽学の会の一層の発展を果たすべく、がんばろうではありませんか。まずは､10周年記念事業を成功裏に終わらせましょう。
(喜多村)